

# 人間力向上 7 か条

- ①いつでもプラスの言葉。常に明るく楽しく、元気よく。
- ②嘘をつかない。言い訳しない。いつも素直に誠実に。
- ③おかげさまの気持ちを忘れない。魔法の言葉、ありがとう。
- ④自分が源。周りに起きているすべてが自分の責任。
- ⑤本気で取り組めば、自信がつく。自信がなければ本気じゃない。
- ⑥すべてにおいて疑問をもて、本質はもっと深いところ。
- ⑦・目標高く、大きく持つ。型にはまらず、大志をいだけ。

## 1.いつでもプラスの言葉。

### 常に明るく楽しく、元気良く。

プラスの言葉で自分を最高の状態にする。口から発せられる言葉を一番聴いているのは自身の耳。言葉の影響が一番受けるのは自分自身である。つまりプラスのことを口にすれば、プラスになる。マイナスのことを口にすれば、マイナスになる。愚痴、言い訳、人のせい、悪口などの否定的な言葉は一切使わない。また、プラスの言葉は他人に良い影響をあたえ、環境を明るくする。他人に良い影響を与える。常に明るく楽しく、元気な人は無条件に素敵な人。いつでもプラスの言葉で素敵に生きていきましょう。

## 2.嘘をつかない。言い訳しない。

### いつも素直に誠実に。

仲間を信用、信頼し、小さな嘘もつかず、器の大きな人間になる。頼まれごとに即座に“ハイ”と返事が出来ないのは自分の都合。嘘をつかないとは、己との闘いです。これをやるぞ。朝早く起きるぞ。この闘いに勝つには、他人との約束事に転換するのが近道です。「僕はこれをいつまでにやります。」「朝何時に出勤します。」など。他人との約束は破ってはいけません。つまり自分を律することを他人に聞いてもらう。他人との約束を破ってしまうなら、自分に鞭打ってでも、自己変化していきましょう。

言い訳は、かつこ悪いものです。そして、隠ぺいできません。  
これらを胸に刻み、素直に誠実に生きていきましょう。

### 3.おかげさまの気持ちを忘れない。

#### 魔法の言葉、ありがとう。

「おかげさまの気持ちを忘れない」は人生軸の現在から全ての過去を指します。今こうして自分たちがいられるのは決してあたりまえじゃない。すべては何かのおかげ、誰かのおかげ。その「誰か」や「何か」のためになれた時あなたは輝く。そして心からの「感謝の念」が生まれる。

「魔法の言葉ありがとう」は人生軸の現在から全ての未来を指しています。世界中どの国でも現地の言葉で「ありがとう」を発した時、悪い気になる人はいない。つまりは魔法の言葉なのです。これからの未来、この魔法の言葉である「ありがとう」を多用して生きていきましょう。

### 4.自分が源。

#### 周りに起きているすべてが自分の責任。

今、この瞬間、現状を自分が責任者として主体的に動いていること。インサイドアウトの思考。思考は、自身が常に主軸であると捉え、また心構えを置き、行動や言葉に表すことです。対極に位置する思考が「景気が悪いから。」「街に活気がないから。」とか、営業で例えれば、「俺ホールじゃないから。」「担当じゃないから。」など。

外部的要因や自分の管轄外と決めつけるアウトサイドインの思考です。大切なのは自己覚知による自分を表現していく力。

人生は筋書きのないドラマです。この無限の可能性を秘めている自身のドラマを他の誰でもなく、自分が源として、構成して行くことが、「自分の人生を生きる。」と言うことです。

自身のドラマの主役が自分として生きていきましょう。

「全ての責任は自分にある。」この意識でいることにより率先した行動ができ、その立ち向かう姿勢が共感を呼ぶ。この姿勢にて、強いリーダーになる4つのベースの心構えです。

#### ①メンバーの感情を配慮し、「情」を持ち込まないルール徹底。

人間は理論ではなく、感情で動く動物。理論レベルはもちろん、相手が感情レベルで認めてくれるよう努める。

「情を持ち込まない」とは、会社で決められたことを流さない。

② **自分を律する心をもって、私利私欲を捨てる。**

管理職になればなるほど自分の時間軸で仕事をするが増えてくる。自分の裁量で判断できるものも増えてくる。だからこそ、自分を律して、与えられた時間やお金を公私混同せずに使うことが求められる。そして管理者は自分も含め多くの人を見る必要があります。それは同時に沢山の人から見られることとなります。私利私欲を捨てるとは、傲慢になる心や、私欲交じりの店舗運営や会社運営のことです。大切なことは、対等な立場で人と接する事が出来て、自分よりもチームを優先できること。

③ **自慢話は我慢、熱い思いを伝える。**

自慢話は過去の武勇伝。しかし人は認められたい、解ってもらいたいと願望が出てきます。しかし自慢の多くの場合は逆効果になり、共感を失いかねません。「自慢は我慢」と思うぐらいがちょうどよい。熱い思いを伝えるとは、その通り、自分の理想や考えを何度も何度も伝えること。チームの個人一人一人のやる気は、リーダーの情熱が伝わって始めて生まれるもの。情熱は伝染して、チームの業績向上に繋がる。

④ **自分の失敗談をしっかりとオープンにする。**

1～3を心掛けている前提で、己の失敗談を語るからこそ、メンバーとの距離が縮まります。「リーダーを助けよう」「リーダーも自分達と一緒だ」と、フォローしてくれるようになる。そしてリーダーが率先して挑戦し失敗をすることで、失敗を恐れない積極的なチームが出来上がってきます。

## 5.本気で取り組めば、自信がつく。

### 自信がなければ、本気じゃない。

誰でも不安があるもの。でも本気で生きていれば、不安になる余裕は無。やるときめたら、やらない事をきめる。やることを本気で取り組む。そこには充実感が生まれ、やりがいが出てくる。やっている者だけにその先にある光が見えてくる。本気の定義：

**自分できめたことをやり続けて、楽しくして、援助してもらおうこと。**

そうしたらこの方程式がうまくいく。 **トライ and エラー×∞＝サクセス。**

本気で取り組んで、諦めずやり続けて生きていきましょう。

## 6.すべてにおいて疑問をもて。

### 本質はもっと深いところ。

どんな出来事、失敗したこと、成功したことに、なぜ！？  
これで良いのか！？を常に問いかけ、さらにさらに高みを目指す。  
もっとできる。興味を持つこと。すべてのものごとに対して  
“味わう”事で、良し悪しの気付き基準値が劇的にアップします。  
「すべてにおいて疑問をもて」は水平思考。広く興味を持つこと。  
「本質はもっと深いところ」は直角思考。深くものごとを掘り下げること。  
広く、深く、深く生きていきましょう。

## 7.目標高く、大きく持つ。

### 型にはまらず、大志をいだけ。

今が「こうだ」「ああだ」は、関係なく、今、自分はどうなりたい、なにがしたい？夢は？  
何のために？今⇒夢⇒志（使命）。夢がなければ、  
本気で夢を追っかけている人を全力で応援する。そうすれば、自ずと、  
夢は見つかる。「いつも誰かのために」と語り、生きていきましょう。